

事務事業評価表

○基礎情報

課名		消防総務課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			総従事者	時間外勤務時間	
施策目標	36	消防業務を円滑に実施するための体制を整備する	村田 敏郎	管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工	総時間	一人あたり月平均
				1 人	7 人	0 人	0 人	0 人	8 人	247 時間	2.9 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の現状値	目標値(R2年度)	実績値		
			H29年度	H30年度	R元年度
消防力の整備率	100%	100%	100%	100%	100%
0	0.0%	0			
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	組織の効率化と職場環境の整備
2	消防業務への理解と協力
3	消防職員の能力向上
4	0
5	0
6	0

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和元年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)															Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	H30予算(円)	R元予算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生ま (対象) (手段・方法) れた成果・効果)	事務事業の指標	R元目標値	R元実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止				
1	消防の広域化の検討	1	0.85	一般	0	0	消防の広域化開始に向けて、寒川町と消防費における財政負担割合や委託業務内容等について調整を図り、消防経費等に係る協定書(案)の作成をした。	消防広域化に伴う調整会議等の開催回数	15回	5回	S	変動なし						
2	消防署本署の再整備	1	0.73	一般	0	0	老朽化した消防署の再整備に向け、視察や資料要求を行い先行市事例の研究を行うとともに、民間活用を含めた事業手法の有効性等についても検討を行った。	消防署本署再整備に係る手法の選択	消防署本署の再整備に係る事業手法の検討	「本署再整備調査研究報告書」を作成し、今後の検討課題をまとめた	S	変動なし						
3	消防職員のストレスケア対策	1	0.42	一般	570,000	480,000	研修及びカウンセリングの実施により、職員の健康管理体制を充実させ、職員が安心して業務に打ち込める環境を整備した。	研修及びカウンセリングの実施回数	23回	21回	S	変動なし						
4	消防署小和田出張所移転整備事業(旧施設の解体)	1	0.05	一般	0	0	旧小和田出張所の解体時期を調整するために、跡地利用の方向性について関係課と協議した。	旧小和田出張所の解体	・旧庁舎の解体完了 ・跡地利用の整理	近隣住民の意向をふまえ関係課と協議し、跡地利用の方向性を検討	S	変動なし						
5	消防職員研修事業	3	0.43	一般	4,019,000	3,955,000	消防学校等の研修に参加し、消防職員の知識及び技術の向上を図った。	各種研修の受講者数	50人	73人	S	変動なし						
					4,017,418	3,478,031												

6	消防防災フェスティバル実施事業	2	0.62	一般	449,000 393,631	342,000 249,689	イベントを通じて消防への理解を深めるとともに、市民一人一人の防火意識の高揚を図る準備をしたが、全国各地で台風の被害による活動が継続されており、中止とした。	来場者数	来場者数 約7,000人	0人	実績 なし	変動 なし		
7	消防出初式の実施	2	0.62	一般	152,000 137,506	150,000 138,046	消防出初式を開催し消防団員の士気向上を図るだけでなく、式典会場を屋内としたことで天候に左右されず多くの市民に防火啓発を行うことができた。	来場者数	3,200人	2,600人	S	変動 なし		
8	高度救助隊の整備等(中核市関連)	3	0.03	一般	140,000 139,350	72,000 30,207	新型コロナウイルス感染症感染防止の為、消防大学の研修が中止となった。	隊員の教育人数(消防大学校・高度救助・特別高度救助コース)の累計数	2人	0人	実績 なし	減少		
合計					R元予算(円)	4,999,000								
					R元決算(円)	4,375,973								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)														
消防総務課の令和元年度の事務事業は16事業あり、うち政策的事業は8事業である。評価については、ほぼ全ての事業で目標を達成した。(No.1「消防の広域化の検討」については、会議開催数15回の目標に対し実績が5回となっているが、これは効率的な事務運営の結果であることからS評価とした)。 事業評価と合わせ職員の時間外勤務時間数に着目すると、総時間で247時間で、一人当たりには換算すると月平均2.9時間となっており、前年度の449時間に比べて半減させることが出来た。これは、昨年度からの引き続きで、職員各個人が意識的に時間外勤務時間の縮減に向けて取り組んだ成果であり、年間スケジュール、チェックリスト等の作成を通じ業務の見える化を図り、業務改善や事務手続きの簡素化に務めた結果と評価している。 今後の展望としては、令和4年4月から開始となる寒川町との消防の広域化についての最終調整を確実に行うと共に、将来を見据えた消防署本署再整備事業を進め、消防本部の災害対応能力強化と、職員の職場環境整備の向上を目指して事業を進める。														

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は-)	事務改善の内容
-	-	-

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は-)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
-	-	消防総務課の事業は、市民の安全を守るために日々活動する職員の職場環境や、職員の能力向上への働きかけを主とする継続的に実施すべき事業であるため、現状では休・廃止はしない。